



認定特定非営利活動法人

ぎふハ千ドリ基金

2025年度 助成事業 実施報告

実施期間：2025.4.1-2026.3.31



小さな“しずく”が、地域の大きな力に。

ぎふハチドリ基金とは

ぎふハチドリ基金は、市民からの寄付を原資に、困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を地域で支える活動に助成する基金です。制度のすき間にこぼれ落ちてしまう声をすくい上げ、支援の届きにくい人たちに寄り添う取り組みを応援しています。

南米アンデスに伝わる「ハチドリのひとしずく」の物語のように、たとえ小さな力でも、思いを持ち寄ることで、地域を支える大きなうねりとなります。

2012年度の創設以来、これまでに262件、累計4,683万円の助成を実施してきました。2018年にNPO法人化し、2020年3月からは、認定NPO法人の認定を受けています。

市民による継続的な支援が、地域に根ざした実践の力となり、若い世代の未来を共に育てています。

2025年度ぎふハチドリ基金助成事業

2025年度も、多くの皆さまからの温かなご支援により、岐阜県内で活動する市民団体を支援することができました。本冊子では、助成を受けて活動した団体の報告を掲載しています。各団体の特色がよく表れており、活動現場のあたたかみが伝わってきます。

助成事業を通じて、寄付者の皆さまの思いが、地域の中で困難を抱える子ども・若者・子育て家庭へと確かに届いた様子をご覧ください。

年間スケジュール(2025年度)

- | | |
|-----------|----------------------|
| ● 募集期間 | 2025年4月1日～5月15日 |
| ● 助成対象期間 | 2025年4月1日～2026年3月31日 |
| ● 助成事業の決定 | 2025年6月12日 |
| ● 採択証交付式 | 2025年6月18日 |
| ● 実施報告 | 2026年4月10日まで |

ぎふハチドリ基金2025年度助成事業 募集要項（概要）

A.事業助成（【すぽっと助成】【はじめる助成】【つづける助成】【はばたく助成】の共通事項です）

さまざまな理由から困難を抱えている子ども・若者・子育て家庭が、自分らしく安心して暮らせるよう地域で支える取組みに対して、必要な費用を助成します。

＜事業助成 対象事業＞

- （ア）「子どもの貧困」対策（貧困の連鎖を断ち切る）事業
- （イ）困難を抱えた子どもを支援する事業
- （ウ）困難を抱えた若者を支援する事業
- （エ）困難を抱えた子育て家庭を支援する事業
- （オ）その他、子どもや若者をめぐる課題を解決するための事業

＊今までの助成事業の例…学習支援活動・居場所づくり・食事・食糧の提供・就労支援・相談活動 など

【すぽっと助成】 1件あたり上限10万円 最大5件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業に必要な費用の一部を助成します。物品の購入費や材料費など、単一の経費でも構いません。

＜要件＞ 団体の実績は問いません。

【はじめる助成】 1件あたり上限30万円 最大5件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援するスタート間もない事業や、これから新しく始める事業について助成します。事業の「スタート」や「やってみたい思い」を応援します。

＜要件＞ 子ども・若者・子育て家庭支援事業の実績が3年以下の団体であることとします。

【つづける助成】 1件あたり上限40万円 最大6件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業の継続を応援します。事業計画や予算の中に、事業継続のための取り組みを加えてください。また、組織や事業の基盤強化のために法人化や資金調達に取り組む事業も対象となります。

＜要件＞ 子ども・若者・子育て家庭支援事業の実績が1年以上あることとします。

【はばたく助成】 1件あたり上限80万円以内 最大2件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業において、これまでよりも拡げる活動を通して、成果を拡大する取り組みを応援します。複数の団体と協働して実施することもできます。また、今までの取り組みを発展させた新たな事業を実施することもできます。

＜要件＞

- ・主体団体が子ども・若者・子育て家庭支援事業の実績が3年以上あることとします。
- ・当基金が開催する報告会で、事業の成果を報告することとします。
- ・個別相談を1回以上おこなうこととします。

B.利用者負担軽減助成 1件あたり上限20万円 総額100万円程度

団体で実施している以下のような活動の利用料等を、経済的困窮家庭に対して軽減する場合、団体が負担した軽減分を補てんします。

＜利用者負担軽減助成 対象事業＞

- （ア）ファミリー・サポート事業、学童保育事業など、子どもを預かる事業

例：①学童保育などの有料サポートを行う際、経済的な事情がある人の利用料を団体の負担で規定の金額の半額にした場合、その半額分を助成

②子育て家庭等を支援する事業に関する利用料等を助成

- （イ）困難を抱える家庭の子や若者への個別支援事業

例：①サマーキャンプなどの体験活動への参加費を助成

②学習支援や居場所等への往復の交通費や利用料金を助成

- （ウ）その他、「ぎふハチドリ基金」の設立趣旨に沿った内容と思われる事業

2025年度助成事業 助成結果

助成件数:全28件 助成総額:6,500,229円

■ A 事業助成 全23件 総額5,752,250円

14の事業は次の冠寄付金の対象です(合計340万円分)

☆1:たんぼ薬局キッズまんぷく基金(合計200,000円) ☆2:こくみん共済coop子ども成長基金(合計200,000円)

☆3:東海ろうきん未来応援寄付金(合計3,000,000円)

【すぽっと助成】(事業費の一部、単一経費、物品購入費等に助成)

- ①ゆずりゆーず(岐阜市) 子ども服の譲渡会に併設する、子育て世代の居場所作り事業 53,000円(☆2 50,000円分)
- ②おばあちゃんの子ども食堂西っ子(岐阜市) 子ども食堂5周年事業 91,000円(☆1)
- ③NPO法人チャイルドラインぎふ(岐阜市) 子どもたちの居場所を支えるボランティア活動を目指す受け手の養成講座事業 36,250円
- ④Ferel(土岐市) ひとり親カフェ事業 50,000円(☆2)
- ⑤岐阜県医療的ケア児者の会ギフアライン(岐阜市) 医療的ケア児者が安心して地域で暮らすための情報提供事業 65,000円
- ⑥みのぎくこども食堂(羽島市) 子ども食堂運営事業 100,000円(☆3)
- ⑦ことなりto(可児市) 表現あそびワークショップ事業 97,000円

【はじめる助成】(実績3年以下の取組みを応援)

- ①NPO法人道TAO(関市) 好きと得意でヒーローになる!TAOeスポーツCUP事業—ここが、キミの主役ステージ 300,000円(☆3)
 - ②別府こども食堂まんまる(瑞穂市) 作って食べる「子ども食堂」事業 190,000円(☆1 109,000円分)
 - ③Share living 日和 こども食堂(白川町) みんなの居場所こども食堂事業 240,000円(☆2 100,000円分)
 - ④ぎふフリースクールネットワーク(羽島市)
- 岐阜県内の民間教育団体の横のつながりを創出する「ぎふフリースクールネットワーク」事業 137,000円
- ⑤一般社団法人ナラティブ・ラボ(岐阜市) 表現・対話活動を中心とした若者のための安心居場所事業 300,000円(☆3)

※⑥りもん(手仕事から繋がる若者の居場所作り事業)は団体の事情により、事業を中止しました。

【つづける助成】(事業の継続を応援)

- ①お結びの森(可児市) お結びまある～不登校児童とそのお母さんが家庭以外と出合いつながりほっと一息つけて自己理解が深まる居場所作り事業～ 400,000円(☆3)
 - ②お休み学園(揖斐川町) ～昔ながらの田んぼ・畑仕事～不登校の子どもたちと働く体験型学びの事業 318,000円
 - ③そらまめ(岐阜市) 医療的ケア児者の通学・通所サポート事業 300,000円(☆3)
 - ④I'm(北方町) 不登校・ひきこもりからの自立支援 おしごと工房 i works(若者の居場所)事業 228,000円
 - ⑤一般社団法人よだか総合研究所(揖斐川町) むいむい子育てサポーター事業 400,000円
 - ⑥一般社団法人山学(本巣市) 中山間地の子どもたちに向けた学習支援・居場所『寺子屋シアン』継続運営事業 400,000円(☆3)
 - ⑦NPO法人仕事工房ポポロ(岐阜市) 同じ悩みを分かち合い、つながり続ける:ひきこもり・不登校家族会・親の会事業 400,000円
 - ⑧ぎなんプレーパークの会(岐南町) 外遊びをととした居場所づくり～放課後プレーパーク～事業 399,000円
 - ⑨ハルジオン～不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会(飛騨市)
- 学校やPTA・地域と繋がり不登校等の多様な困りごとに悩む子ども達や家族に寄り添いつづける居場所づくり事業 400,000円(☆3)
- ⑩NPO法人MINO COOL JAPAN(美濃市) みのっ子繋がりがプロジェクト事業 400,000円(☆3)

【はばたく助成】(事業の拡大を応援)

NPO法人 美濃加茂国際交流協会(美濃加茂市) 外国にルーツを持つ高校生の学習支援事業 448,000円 (☆3 400,000円分)

■ B 利用者負担軽減助成 全5件 総額747,979円

①あしたの支援室(大垣市) ひきこもり女子会「ラルジュ」事業 102,164円

②NPO法人飛騨高山わらべうたの会(高山市) 高山市ファミリー・サポート事業・びいぽおサポート事業 180,875円

③一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク(岐阜市) 学習支援室へ通う生活困窮世帯への交通費支援事業 158,940円

④一般社団法人SEIMA 1 3 7(関市) 児童自立生活援助支援事業 200,000円

⑤全国ギャンブル依存症家族の会 岐阜(美濃加茂市)

ギャンブル依存症に巻き込まれた家族の困りごとの相談と病気の知識と家族の対応を学ぶ場を提供する事業 106,000円



冠寄付金について



助成金の原資は、個人や企業・団体の皆様からいただいた寄付金です。

そのうち、期間や金額、用途を定めて、継続的にご寄付いただいているのが「冠寄付金」です。

冠寄付金	東海ろうきん 未来応援寄付金	こくみん共済coop 子ども成長基金	たんぽぽ薬局 キッズまんぷく基金
寄付者	東海労働金庫 様	こくみん共済coop 岐阜推進本部 様	たんぽぽ薬局株式会社 様
対象事業	新しい挑戦や発展的な 取り組みがある事業	親子の居場所、 親子交流会など、 親子が地域とつながる事業	子ども食堂や食糧支援など、 子どもの「食」にかかわる事業
助成予算(総額)	300万円	20万円	20万円

A. 助成事業【すぽっと助成】全7件 合計 492,250 円

① ゆずりゆうず（岐阜市）



助成事業名 子ども服の譲渡会に併設する、子育て世代の居場所作り事業



団体連絡先



ゆずりゆうず HP

事業の目的

おゆずり会に参加された方が、気軽に立ち寄り、ほっと安らぐ場所となることを目指してカフェコーナーを設置した。子育て講座ではつい後回しにしがちな、「自分の感情」に目を向け、心のゆとりを取り戻すことを目的とした。

事業の内容と成果

子ども服のおゆずり会に無料カフェを併設し、年間4回開催した。読み聞かせやハンドマッサージ、キッズスペースの設置、福祉施設での開催など、回ごとに工夫を重ね、親子がほっとできる時間を届けた。また、子育て講座も行い、日々忙しい保護者が自分の気持ちに向き合い、心をゆるめる機会となった。福祉団体との協働により、多世代が自然に交流する場が生まれた。

参加者・対象者の様子

参加者からは「子どもを見てもらえて一息つけた」「おしゃれな飲み物が嬉しい」「スタッフとの会話で気持ちが軽くなった」などの声が寄せられた。福祉施設では、子どもたちとの触れ合いが利用者の励みとなり、施設からも「新鮮で心あたたま交流だった」と喜ばれた。

寄付者（こくみん共済 coop 様）へのメッセージ

こくみん共済 coop 様のご支援により、子育て家庭がほっとできる場をつくることができました。あたたかなご支援に心より感謝いたします。

助成額

53,000 円
内 50,000 円
☆2 こくみん共済 coop 子ども成長基金

総事業額

53,765 円

② おばあちゃんの子ども食堂西っ子（岐阜市）



助成事業名 子ども食堂 5 周年事業



団体連絡先

090-2344-0060（森川）
インスタ：@kidsnagaranishi

事業の目的

この度はおばあちゃんの子ども食堂西っ子の5周年にあたり地域の人達のご協力を得、普段ではできない事を経験させて頂く機会を得る事ができました。秀の山親方とお弟子さん達をお招きしてこども達に本物のお相撲さん達と一緒にしこを踏んだりお相撲したりとこども達の思い出に残る、そして地域の人達も交え楽しいひと時を過ごす事ができました。またお弟子さん達が作って下さるちゃんこ鍋を食べる事ができ、至福のひとつでした。

事業の内容と成果

事前の準備の段階から地域のスポーツ少年団或いは自治会の方々がこども達の為に地域の方々の為にと一生懸命ご尽力してくださいました。その甲斐ありまして700人もの方が参加してくださいました。

参加者・対象者の様子

滅多にみる事の出来ないお相撲さんに直にお会いしてこども達はおおきい!!と驚いたり恐る恐る触れてみたりとおおさわぎでした。皆してお相撲さんとお相撲したりと楽しい時間をすごしていました。そしてお相撲さんの作って下さったちゃんこ鍋を地域の方々も一緒に美味しく食べてみました。

寄付者（たんぽぽ薬局様）へのメッセージ

この度はご寄付を賜りまして本当に有難うございました。心から感謝申し上げます。お陰様でこども達のみならず地域の方々にも楽しく貴重な体験をして頂くことができました。

助成額

91,000 円

総事業額

91,085 円

③ NPO法人チャイルドラインぎふ（岐阜市）

助成事業名 子どもたちの居場所を支えるボランティア活動を目指す受け手の養成講座事業



団体連絡先

HP : <https://cl-gifu.jp>
メール : childlinegifu@gmail.com

事業の目的

毎年電話を受けるボランティア（受け手）として活動するにあたり必須受講となっている養成講座を開催していますが、今年度は設立20周年を迎えたことから特別講座も開催し、一般の方以外にも将来に向けて教育や福祉・医療を目指す学生にも受講をしていただく。

事業の内容と成果

チャイルドラインは相談機関ではなく、子どもの話を聴く場として活動しており、喜びも、悲しみも、苦しみも、なんとなく話したい時も、指示されることなく話せる場の提供という点が当団体の特色です。活動するために必須となっているこの講座を通して、単にボランティアスタッフの確保だけでなく学生等の学びの機会となり、将来自身の子育てや子どもたちの良き理解者として地域に貢献できる若者となってもらいきっかけを提供できたと考えています。

参加者・対象者の様子

当日はホームページやポスター、広報を見た方から一般の方だけでなく、関係する大学等の学生など多数の参加をいただきました。「自身の子育てで気になっていたことがスッキリした」「地域の子どもや孫との関わり方について非常に勉強になった」「学校での実習や社会に出たときのために非常に勉強になった」との声をいただきました。

寄付者へのメッセージ

当団体でのボランティア活動には、受け手養成講座の受講が必須となっております。この度の助成により開催費用の負担を大幅に軽減でき、多くの参加者に活動を知っていただくことができました。また、講座を通じて素晴らしいスタッフを確保することもできました。ありがとうございました。

助成額

36,250 円

総事業額

36,250 円

④ Ferel（土岐市）

助成事業名 ひとり親カフェ事業



団体連絡先

Ferel Instagram
@ferel2025



公式 LINE : <https://lin.ee/9WFbH7E>

事業の目的

- ・ひとり親家庭をサポートする事業
- ・気持ちがホッとできる、相談しやすい居場所
- ・同じ境遇だからわかり合える、共感できる。繋がれる環境を提供し、笑顔を増やす。

事業の内容と成果

毎月第三日曜日にひとり親家庭の方を対象に、お茶会を開催しました。今年度立ち上げたばかりで初めは参加者も少なく1, 2 家族の参加の時もありました。土岐市内の子ども園や児童館にお茶会のチラシの貼り出しや、Instagram や公式 LINE など Ferel の活動を少しでも多くの方に周知して頂けるよう投稿をしました。

参加者・対象者の様子

子ども園への貼り出しを見てくださったひとり親の保護者の方から、交流の場がないのでお茶会の様な交流の場が出来て嬉しいとの声を頂きました。今は参加されている方同士の交流が自然に出来るようになり、一緒に Ferel の活動を盛り上げようという様な意見を出して下さるようになりました。

寄付者（こくみん共済 coop 様）へのメッセージ

この度は温かいご支援を頂き本当にありがとうございました。ひとり親の方の交流や情報交換の場を作り、身近なサポートを心がけて参りました。これからもひとり親さんのやりたいことの実現、いろんな不安が少しでも軽減でき、子育てを安心して出来る心のサポートをしていきたいと思っています。支援が必要な方々へ届けられる支援が出来ますよう、今後もよろしくお願いいたします。

助成額

50,000 円

総事業額

51,878 円

... ...
こくみん共済coop子ども成長基金

⑤ 岐阜県医療的ケア児者の会ギフアイライン（岐阜市）

助成事業名 医療的ケア児者が安心して地域で暮らすための情報提供事業



事業の目的

医療的ケア児支援法が施行されたが、支援を受けられる手段はまだまだ限られている。医療的ケア児者の生活の質の向上と地域格差解消を目指し、家族が孤立せず安心して暮らせるために必要な情報を発信することを目的とする。

事業の内容と成果

公式 LINE を利用して、医療的ケア児者を抱えた生活に必要なかつ有益な情報の提供と各種イベントの案内・研究機関からのアンケート依頼を発信した。成果として得られた情報により福祉制度の利用が可能になったり、交流会・講演会・花火大会・映画会等に参加できた。アンケート調査に参加して、研究に協力できた。ギフアイライン活動の案内チラシを作成し、行政・医療機関・福祉事業所・教育機関等に配布し、イベント開催時には参加者にも配布した。成果としては SNS を活用できない人を含め、多くの人に会の活動を広く周知することができた。

参加者・対象者の様子

公式 LINE で発信したイベントや研究会に参加する事で、外出する機会が増え、親子で楽しく活動でき、医療的ケアや子供の体についても学べることができていた。仲間とのつながりを感じ、情報交換が活発にでき互いに学び合っていた。

寄付者へのメッセージ

皆様のご支援誠にありがとうございました。医療的ケア児者の家族に向けて、有益な情報をたくさん届けることができました。今後も情報発信を続けていきます。

団体連絡先



Instagram



HP

助成額

65,000 円

総事業額

65,810 円

⑥ みのぎくこども食堂（羽島市）

東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 子ども食堂運営事業



事業の目的

近年様々な環境下にある子供たち。忙しい日々の中で子ども達とのスキンシップする事さえ思うように出来ず、親も子もストレスを抱える状況の今、ホッとする時間を提供出来たらとの思いで立ち上げました。一週間で一番ホッとする金曜日の夕方を開催日に選びました。

事業の内容と成果

みのぎくこども食堂は毎月第2、第4金曜日夕方5時から7時までの2時間余りで食材が無くなり次第終了となります。参加料金は大人200円、小人100円でフードパントリーも兼ねて参加者全員に平等にお渡ししています。ホールでの食事は対面式で実施。安心・安全・低価格の食事の提供をしています。「参加を楽しみにしているよ」「献立が楽しみ」「みんなに会えるのが嬉しい」等と声をかけて頂きスタッフの喜びと励みになっている。

参加者・対象者の様子

若い親子連れで参加される方々はお互いに情報交換が盛んに行われ、他の親さんと話せて共有が出来たと話され、とても良い居場所になったと喜ばれた。また、幅広い年齢の方々と触れ合い、気にかけて声を掛け合う交流場面も観られた。

団体連絡先

羽島市正木コミュニティセンター
羽島市正木町坂丸4丁目54-2
☎058-392-6655
事務局 058-392-5307

寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

R7.5月よりR8.3月までの一年間、東海ろうきん様の寄付を頂き開催日に行事保険代を支払い、こども食堂に携わる全ての人に補償が出来ました。感謝申し上げます。

助成額

100,000 円

総事業額

108,839 円

⑦ ことなり to (可児市)

助成事業名 表現あそびワークショップ事業



事業の目的

遊びや運動、地域との交流の機会が少ない外国にルーツのある子どもたち（年長児）に、表現あそびワークショップを届けたい。日本語での交流や新しい遊びの体験を通して、子どもたちの言葉や体、心の成長を促す場を作りたい。

事業の内容と成果

11月28日、可児市文化創造センターa laにてワークショップを実施。

44名の子どもたちが参加。講師の他にワークショップ経験のある地域の人にも参加してもらい、安全を確保しつつ、初めて会う人との出会いも大切にしたい。

ワークショップ内容：歌やゲームで子どもたちの心と体をほぐし、絵本『もりのおふろ』を読み聞かせ。“お風呂探しの旅” にでて、見つけた風呂桶に新聞紙でお湯をはり、お風呂を楽しむなど、絵本の世界を追体験する内容とした。

日常にはないダイナミックな遊びを体験することができ、交流もたくさんうまれた。

参加者・対象者の様子

“お風呂探しの旅” の時には、「ブルリン！」と言いながら、バイクのアクセルをふかすマネをして“早くいこう！”を体で表現する子どももいた。子どもたちの心がたくさん動いて「やりたい！」気持ちが体全身から発せられていた。

寄付者へのメッセージ

ご寄付をいただき感謝申し上げます。自分の気持ちを安心して表現できる場を届けることが出来ました。皆さまの応援（エール）を胸に今後も活動していきます。

団体連絡先



Facebook



Instagram
@KOTONARITO

助成額

97,000 円

総事業額

100,141 円

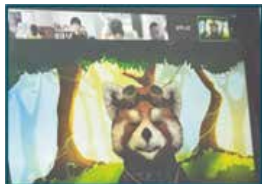


A. 助成事業【はじめる助成】全5件 合計1,167,000円

① NPO法人道TAO（関市）

東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 好きと得意でヒーローになる！TAOe スポーツ CUP 事業—ここが、キミの主演ステージ



団体連絡先



岐阜県関市東山 35 番地 2
manayume12202025@gmail.com
090-3833-2371

事業の目的

地域の中で孤立しがちな、不登校や発達特性のある子どもたちが、安心して過ごせる居場所をつくり、ゲームを通じて人と繋がる機会として、e-sports 大会を実施。自分の得意や好きを活かしながら自己肯定感を高め、社会参加や将来の自立につなげる事を目的とする。

事業の内容と成果

本事業では、ゲームを通じて子どもたちの「好き」や「得意」を活かし、社会とつながる体験としてe-sports 大会を実施しました。e-sports チーム「good-friends」は、アダチヤスシ氏や大阪のキッズプロジェクトや TECTEC 監修のもと、継続的な基盤を構築。オンラインでは毎週日曜朝 10 時から、ゲームなどの交流会も行いました。発達の特性が出る子が多く、会場よりオンライン開催希望が多く、また大阪からのオンライン参加もあり、本部を（株）中濃自動車学校に設置し、午前午後に分け休憩を挟みながら対戦。大阪との交流も生まれ、保護者も含め 20 名が参加。今後は活動の定期化と地域連携の拡大に加え、ゲーム分野での就労や職業体験の機会も視野に入れ、展開する第一歩となりました。

参加者・対象者の様子

参加者の多くは不登校や発達特性を抱え、継続的な参加が難しい傾向にありましたが、無理のない関わり方や、オンラインの活用により安心して参加できる環境を整えました。その結果、半数以上が継続して参加し、徐々に笑顔や会話が生まれ、仲間と協力し前向きに取り組む姿が見られました。

寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

ご支援により、子どもたちの笑顔と挑戦する心が生まれました。これからも一人ひとりの可能性を広げる活動を続けていきます。ぜひ今後とも温かい応援をよろしくお願いいたします

助成額

300,000 円

総事業額

324,539 円

② 別府子ども食堂まんまる（瑞穂市）

たんぼば薬局キッズまんぶく基金

助成事業名 作って食べる「子ども食堂」事業



団体連絡先



事業の目的

私たちの運営する子ども食堂は、「みんなで作り、みんなで食べよう」をコンセプトとし、参加してもらえる子どもたちと保護者の方だけではなく、ボランティアの皆さんも一緒に楽しく過ごしてもらえる居場所づくりを事業の目的としています。

事業の内容と成果

開催回数を重ねるうちに、参加している子どもたちはみんな少しずつ心を開き、誰にでも話をしてくれるようになりました。

近年は、家庭内で一緒に料理を作り、みんなで食べる機会が少ない子も多いと思いますが、当子ども食堂で様々な経験をして、「私は将来、パティシエになるの」と、新たな夢を持つ子が出てきたことは、一つの成果だと考えています。

参加者・対象者の様子

講師の先生の華麗な包丁さばきに、目を輝かせながら、一生懸命に取り組む様子がみられます。また、自分の作った料理を、ワイワイガヤガヤと特別美味しく食べる姿もみられます。会場全体が笑顔で溢れる場所になっていると思います。

寄付者（たんぼば薬局様）へのメッセージ

私たちは、子どもたちの楽しそうな姿に触れるたび、この活動を行って本当に良かったと感じています。また、このように活動できるのも、ご寄付いただいた方々のおかげであると感謝しております。今後も、できる限り活動を継続していきたいと思っておりますので、ご支援、よろしくお願いいたします。

助成額

190,000 円

(内、109,000 円
☆1たんぼば薬局キッズまんぶく基金)

総事業額

221,466 円

③ Share living 日和 こども食堂 (加茂郡白川町)



助成事業名 みんなの居場所こども食堂事業



事業の目的

白川町では少子高齢化が進み、子ども食堂や学習支援などの場も整っていません。互いに相談しづらい地域性もある中で、親子が安心して集い、子ども同士や地域住民と自然に交流できる居場所づくりを目的に本事業を立ち上げました。

事業の内容と成果

こども食堂事業を年間5回、夏休みの勉強支援を2回実施し総勢800名以上の参加がありました。寄附等の支援も広がり、地域住民と事業の意義を共有する機会となりました。多世代が協力し合い、アレルギーや離乳食への対応、座敷スペースの設置など子育て家庭に配慮した環境整備にも取り組み、参加者が安心して過ごせる居場所を実現しました。

参加者・対象者の様子

主な対象者は小学生以下の児童で、町内では子どもが交流できる貴重な機会となっています。食事や遊びを通して自然に関わりを深め、託児スタッフの見守りのもと安心して過ごさせています。保護者からも「ゆったり食事ができてありがたい」との声が寄せられています。子どもたちは終始笑顔で過ごし、苦手な野菜に挑戦する姿や何度もおかわりをする様子が見られるなど、食事への満足度も高い結果となりました。

寄付者(こくみん共済coop様)へのメッセージ

この度は貴重な助成金を賜り、誠にありがとうございました。いただいたご支援は、食材の充実および子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりのために大切に活用させていただきました。その結果、白川町の子どもたちの「おいしい!」という多くの笑顔につなげることができ、関係者一同心より感謝申し上げます。

団体連絡先

☎: 0574-75-2435
mail: shareliving.hiyori2025@gmail.com
@share.living2025



助成額

240,000 円
内 100,000 円
(☆2 こくみん共済coop子ども成長基金)

総事業額

518,855 円

④ ぎふフリースクールネットワーク (羽島市)

助成事業名 岐阜県内の民間教育団体の横のつながりを創出する「ぎふフリースクールネットワーク」事業



事業の目的

岐阜県内の不登校児童生徒は令和5年度調査で約5800人であり、この5年間毎年増加している。これに伴ってフリースクールなど、こどもの居場所を作る動きも活発になったが、それらの連携はあまり図られていない。県内の民間教育団体がつながることで、①不登校児童生徒とその保護者のためのローカルセーフティネットの確立②行政に利用世帯補助制度創生などの政策提言していけるような強い組織体となる、という二点を目指す。

事業の内容と成果

3回の対面での勉強会や懇親会、6回のオンライン勉強会、2月には保護者を交えての50人規模の対話交流会も開催した。互いに実践事例を交流したり共有したりしてネットワークの基礎を構築することについて、一定の効果を感じた。また、自団体でなじめなかつたり相談に来たけど位置づかなかつたりした子に「他の居場所の提案」ができる団体が増え、セーフティネットとしての機能を備えつつあると感じている。年度当初の加盟数は27団体だったが、2026年3月現在40団体74名が加盟する大所帯となった。

参加者・対象者の様子

地域の情報を共有したり運営上の悩みを話し合ったりと、運営側の孤立感が小さくなった。他地域の実情について知ったり今後ネットワークとして行政にどんなことを伝えていくのかを考えたりするきっかけをたくさん生み出した。

寄付者へのメッセージ

本ネットワークが成長したことで、不登校児童生徒のためのセーフティネットとして機能し、数多くのこどもがびったりの居場所にたどりつくことにつながっています。ご寄付いただきました皆様のおかげで、よりよい地域社会・地域教育の実現に近づけられたと感じています。本当にありがとうございました。

団体連絡先

080-8087-5477
Instagramはこちら→



@our_gifu_edu_freeschoolnetwork

助成額

137,000 円

総事業額

141,904 円

⑤ 一般社団法人ナラティヴ・ラボ（岐阜市）

東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 表現・対話活動を中心とした若者のための安心居場所事業



事業の目的

不登校またはその経験のある中高生を中心に、安心して過ごせる居場所を提供する。学校に行きづらさを抱える若者に対し、強制や評価を伴わない活動を通じて自己肯定感と他者との信頼関係を育み、社会との接点を回復する第一歩を支えます。

事業の内容と成果

本事業では、若者同士のつながりが生まれたことが大きな成果です。年齢や背景の異なる参加者が関わり合い、安心して過ごせる関係が育まれました。また、思いや考えを無理なく表現できる場を継続的に提供できたことも重要な成果です。活動や発表の機会を通じて自信が育まれ、対話や交流を重ねる中で、自分の役割や良さを実感し、「やってみよう」と思える前向きな変化が見られました。

参加者・対象者の様子

不登校で外出が難しかった中学生が、音楽活動を通じて表情や発言が前向きになり、発表の場でも自信を持って参加しました。別の参加者とも交流を重ねる中で打ち解け、継続的に参加しながら他者との関わりを楽しむ様子が見られました。

団体連絡先



HP



Instagram
@narrativelabo

寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

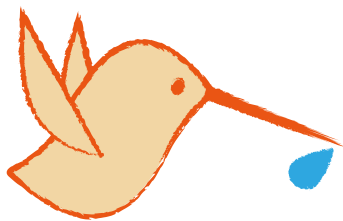
温かいご支援により事業を無理なく立ち上げることができました。若者の変化と成長につながる機会をいただき、心より感謝申し上げます。今後も活動を継続してまいります。

助成額

300,000 円

総事業額

307,699 円



A. 助成事業【つづける助成】全10件 合計 3,645,000 円

① お結びの森 (可児市)

......
東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 お結びまある～不登校児童とそのお母さんが家庭以外と出会いつながりほっと一息つけて自己理解が深まる居場所作り事業～



事業の目的

1. 不登校や学校に行き渋りがあり家以外に居場所のない親子が家族以外とつながる場作り
2. お母さんが「発達しょうがい」の特徴や自分の気持ちの整え方を学ぶ場を提供する。
3. その子その子に必要なと思われる次の場所へつなげる。

事業の内容と成果

1. 地区センターで過ごす日 10 回開催、のべ 66 人参加
調理、菓子作り、カードゲームなどで一緒に遊んだり、療育整体やアロマやバステルアート、心理学などのプチ講座を開催。図書室でのんびりしたり、ギターを弾いて過ごす姿もあった。お母さんの個別相談を別室で受けた。
2. 我田の森で過ごす日 4 回開催、のべ 9 人参加、自然の中で農作業を手伝い、のんびりと過ごした。
3. お話会 心が軽くなるお話会、療育整体、HSC のお話会 の計 3 回開催、のべ 140 人参加。



参加者・対象者の様子

- ・自分の好きなことを思い出して、行動に繋がった子がいた。そんな我が子の姿を見て、この子は大丈夫かもしれないとほっとされる母の姿があった。
- ・自分の地域でもこのような場が必要と語り自分に何ができるか考え行動するお母さんが増えた。

団体連絡先



寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

おかげさまで 2 年目も活動を実施でき、助成により子どもたちの「やってみたい」を実現できました。調理や交流を通じ親子に笑顔と安心が生まれています。活動を理解してくださり 支えてくださることに心から感謝いたします。

助成額

400,000 円

総事業額

442,930 円

② お休み学園 (揖斐川町)

助成事業名 ～昔ながらの田んぼ・畑仕事～不登校の子どもたちと働く体験型学びの事業



事業の目的

日頃、ゲームやネットに依存気味、昼夜逆転気味の子どもたちと自然の中でお日様を浴びて体を動かすことで、心のモヤモヤを晴らすこと。また収穫した野菜などを使ってイベント出店に参加し、作って売る。までの流れを経験することで、子どもたちの更なる達成感と自信に繋げる。

事業の内容と成果

一年を通して、田んぼの播種から脱穀、精米まで一連の流れを経験しました。お昼に食べるお米が自分たちの育てたお米ということは、とても達成感を噛み締めることができた様に思います。田んぼとイベント出店が同じプロジェクトに組み込まれていたことは、対極的な要素があり、子どもたちにとっても切り替えのできる楽しいイベントになりました。また地域の方々も、田んぼに通う事を喜んでくれて何度も覗きにきてくれたことが地域の活性にも貢献できた様に思います。



参加者・対象者の様子

子どもたちは本当によく働きました。淡々と続く草取りも仲間とおしゃべりしながら取り組み、親御さんも楽しんで参加してくれました。イベント出店は、毎回大張り切りの子もたち、どんどん小慣れていましたし、親御さんともとても喜んでくれ、イベントに関しては祖父母や親戚の方まで参加がみられ賑やかな取り組みになりました。

団体連絡先

090-1271-5486

HP:bakmaizbuilding.com

寄付者へのメッセージ

この度はこの様な助成を受ける機会を与えていただきましたこと、心から感謝申し上げます。一年を通した活動の中でたくさんの成長を間近で見ることができました。ありがとうございました。

助成額

318,000 円

総事業額

318,344 円

③ そらまめ (岐阜市)



助成事業名 医療的ケア児者の通学・通所サポート事業



事業の目的

スクールバスに乘れず、保護者が送迎できないときは学校へ通うことすらできない医療的ケアのある重症心身障害児。子どものたちの教育を受ける権利や友達と過ごす大切な時間を守り、学校や施設で過ごすことができるよう通学通所支援をしています。

事業の内容と成果

福祉車両で障がいのある子どもの送迎をしました。添乗者をつけ、送迎を担うことで保護者が送迎できなくても、大好きな学校や施設に通うことができました。障がいのある子どもたちは毎日同じ時間に登校し学校での活動に参加することで、通学支援を利用する前と比べて生活のリズムが整い体調が安定しました。障がいのある子どもがひとりで通学できることで、両親がそろってきょうだい児の学校行事に参加することができました。また、非常時の車内での電源確保のためにポータブル電源を購入しました。いつでも電源があることで安心して送迎することができました。

参加者・対象者の様子

「そらまめ」と言いながら得意げに車に乗りこむ子、車内で好きな音楽をかけのりのりの子、添乗者とおしゃべりを楽しむ子、車に乗るときから学校に着くまでずっと寝ている子など、みなさんそれぞれでした。

団体連絡先



E-mail :
2022soramame@ymail.ne.jp

寄付者 (東海ろうきん様) へのメッセージ

頂いたご寄付のおかげで車内での電源の心配をすることなく添乗者とともに安全に子どもたちを送迎することができました。本当にありがとうございました。

助成額

300,000 円

総事業額

468,345 円

④ I'm (北方町)

助成事業名 不登校・ひきこもりからの自立支援 おしごと工房 i works (若者の居場所) 事業



事業の目的

多感である10代やそれ以上の年齢を対象とする居場所支援には「支援を受ける」のでは無く「手伝う・協力する」ことがモチベーションになると考え、参加者に商品の製作や畑しごと等の労働を与える形の居場所を実施し、若者が社会と再接続出来る仕組みを作る。

事業の内容と成果

活動を続ける内、別人のように明るくなったメンバーがいます。生活面の自己管理が以前より出来るようになったメンバーもいます。商品の製作や畑しごと、当団体の手伝いをするを通して自分も一員であることの自覚を持ち、成功体験を積むことが出来た他、人とのコミュニケーションも楽しむことが出来たと思います。イベント出店や調理実習に参加し、さらに活動の場を広げることの出来たメンバーも居ます。大変嬉しく思います。

参加者・対象者の様子

だんだんと表情が明るくなり、自分のことを話してくれるようになりました。将来の不安や現在の葛藤を仲間と話せる居場所があることは心強いと思います。イベント出店に向けて活動する中プレッシャーに苦しむ姿も見られましたが、乗り越えて強くなれたと感じます。

団体連絡先



090-1786-8202
lm.sakaida1@gmail.com
(代表 坂井田)

寄付者へのメッセージ

事業開始の準備を進める中不安もありましたが、採択いただけたことで自信が付きました。今年度の資金繰りを支えていただけたおかげで活動の基盤が出来ました。ありがとうございました。

助成額

228,000 円

総事業額

418,500 円

⑤ 一般社団法人よだか総合研究所 (揖斐川町)

助成事業名 むいむい子育てサポーター事業



団体連絡先

090-6094-4772 (伊東)
info@yodaka.org
<https://yodaka.org/>



事業の目的

揖斐川町は面積が広く少子化も顕著ですが、公的なファミリーサポートセンターが設置されていません。そこで、地域の助け合いを仕組み化した子育てサポートを開始しました。

事業の内容と成果

内容：保育士や育児経験者を援助者として登録し、有償での預かりや送迎を行う相互援助活動を運営しました。

成果：当初計画の約2倍にあたる延べ188件の利用があり、子育てをする皆さんの『誰かに頼りたい』という切実な想いが、たくさん届いた1年でした。特に、転入してきて頼れる先がなかったご家庭や、不登校のお子さんがみえる働く親御さんの「困った」に寄り添うことができました。

参加者・対象者の様子

交流会「おやかカフェ」では、地域のお店のお弁当を囲み、0～1歳のお子さんを持つ保護者の皆さんが「たまにはゆっくりご飯が食べたい」と一息つく姿が見られました。また、援助活動では「公共交通機関が限られているため、送迎のサポートがあって本当に助かった」という声が届いています。公的なサービスでは手が届かない「移動の困りごと」を地域で支え合うことで、この地域での子育てへの安心感に繋がっています。

寄付者へのメッセージ

公的な支援が届きにくい隙間で、相互援助をたくさん生み出すことができました。現場を支えてくださる方たちの「協力したい」という温かい声に支えられ、これからも続けていきます。

助成額

400,000 円

総事業額

410,081 円

⑥ 一般社団法人山学 (本巣市)

......
東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 中山間地の子どもたちに向けた学習支援・居場所『寺子屋シアン』継続運営事業



団体連絡先

<https://yamanabi.jp/>

<https://www.instagram.com/yamanabi.motosu/>



事業の目的

小学校の全校児童が23人(2025年度)という中山間地の小規模校区において、山あいで生まれ育つ子を支える狙いから、学校外の居場所・学びの場となる「寺子屋シアン」を開きました。また、今後の活動の継続・発展に向け、団体HPの整備にも取り組みました。

事業の内容と成果

ローカル線・樽見鉄道の無人駅「神海駅」の旧駅長室において、平日週3日・17時から3時間、小中高校生の学習の場を開きました。本助成事業にてサポートいただいた期間(2025年4～6月)には計36回開講し、延べ189人の子の利用がありました。子どもたちは持ち込んだ宿題や寺子屋で用意したワークにそれぞれ取り組み、わからない問題に対して大学生の支援員がサポートをしました。不登校経験や学校の学習に難しさを感じている子など、さまざまな困難を抱える子が前向きに乗り越えようとする姿が見られました。またHP整備では、デザイナーの方のご協力により団体の魅力が伝わる内容に仕上がりました。

参加者・対象者の様子

高校生の保護者からは「寺子屋があってくれて助かる。家だと一人でできないので」との声をいただきました。周囲の友人の数が極端に減った中山間地では刺激合える仲間が少ないことも課題ですが、大学生に伴走してもらい、意欲的に取り組む姿が印象的でした。

寄付者(東海ろうきん様)へのメッセージ

東海ろうきん様の2年続けてのご支援により25年度も開講でき、一歩ずつではありますが地域に浸透できていると感じます。あたたかいご支援に心から御礼を申し上げます。

助成額

400,000 円

総事業額

426,546 円

⑦ NPO法人仕事工房ポポロ（岐阜市）

【助成事業名】 同じ悩みを分かち合い、つながり続ける：ひきこもり・不登校家族会・親の会事業



【事業の目的】

ひきこもりや不登校は解決に長期を要する場合が多く、家族も当事者も孤立しがちな課題である。家族会・親の会・風のたより等の場を「つながり続ける」場とし、安心感を高め孤独感の緩和を図るとともに、社会との接点の再構築を目指すことを目的とする。

【事業の内容と成果】

家族会・親の会では、直面する課題だけでなく、日々の小さな変化や喜びを分かち合い、肯定し合う過程も大切にしてきました。この積み重ねは、家族の孤独感の解消や自己肯定感の向上、心の安定へとつながると考えています。会には当事者も参加し、経験を語り合う中で、家族の視点の変化や、当事者自身の自信回復という姿も見受けられました。これらは、長年「つながり続けてきた」信頼関係があるからこそ実現できた成果だと感じています。一方通行のハガキ交流「風のたより」でも、返信や電話、来所などの主体的に行動する姿が見られ、直接会わずともつながり続けていることを再確認できました。

【参加者・対象者の様子】

涙ぐんでいた方が笑顔で帰る姿や、他の家族の外出報告をとともに喜ぶ場面など、思いの共有により安堵される様子が見られました。ハガキの書き手のご家族からも「我が子への目線で綴ることので心が癒やされる」との声があり、つながりを支える場となっています。

【寄付者へのメッセージ】

ご支援に感謝申し上げます。大切にしてきた「つながり」の場を途切れることなく運営できました。今後も当事者・ご家族の支えとなる活動を継続していききたいと思います。

電話 058-337-0701 団体連絡先
メール info-popolo@qc.commufa.jp



HP



Facebook



Instagram

助成額

400,000 円

総事業額

439,306 円

⑧ ぎなんプレーパークの会（岐南町）

【助成事業名】 外遊びをととした居場所づくり～放課後プレーパーク～事業



【事業の目的】

学校に行きづらさを感じている子をはじめ、誰もが自分らしくいられる放課後の居場所づくりをおこなうことを目的としました。不可欠な「遊ぶ」時間を確保し、心のゆとりや心身の自然な育みが促される環境づくりを重視。地域全体で遊びの重要性を分かち合い、「遊びあふれるまち」の土台を築くことで、子どもの幸福度向上と地域のつながり強化を目指しました。

【事業の内容と成果】

小学校で焚き火や昔遊びを行う「放課後プレーパーク」を計 11 回開催し、併せて大人と子どもが遊びの重要性や想いを共有する勉強会・交流会を計 8 回実施しました。PTA 等との連携により開催場所が 2 校増加するなど、地域と共に活動の基盤を広げました。継続開催の結果、学校や家庭以外の「第 3 の居場所」として定着。誰もが安心して過ごせる場を整えたことで、中学生が本音を話せる機会が生まれるなど、心身の自然な育みが促される環境を創出できました。地域全体で遊びの価値を分かち合う土台が築かれ、「遊びあふれるまち」へ広がる大きな一歩となりました。

【参加者・対象者の様子】

子どもたちからは「次はいつ?」「最高!」と開催を心待ちにする声があがり、保護者からも活動を支える感謝の言葉が数多く寄せられました。会場では、焚き火を囲んで何気ない本音をこぼしたり、コマ回しに興じながら多世代で交流したりと、誰もが周囲を気にせず自分らしく過ごす姿が見られました。こうした「遊ぶ」ことを通じた心の解放が、多様な背景を持つ子どもたちにとって、ありのままの自分でいられる温かな居場所となっています。

【寄付者へのメッセージ】

温かいご支援感謝いたします。子どもたちに「第 3 の居場所」を届けられました。子ども達の自分らしさを守り、育ちを支える礎となっています。有難うございました。

団体連絡先

メールアドレス：
ginanplaypark@gmail.com

助成額

399,000 円

総事業額

407,634 円

⑨ハルジオン～不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会（飛騨市）

東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 学校やPTA・地域と繋がりが不登校等の多様な困りごとに悩む子ども達や家族に寄り添いつづける居場所づくり事業



事業の目的

地域の特性として、人口が少なく関係が密であること、同居世帯が多いことなどから困りごとを表に出し頼ることへの抵抗が強い傾向があります。そのため相談や専門機関、居場所利用のタイミングが遅くなるケースが沢山見られました。そこで以下の項目を事業目的とします。

- ①すべての親子が安心してそれぞれの未来に向かって歩んでいき、また孤立しがちな子供や家族の支援と交流を続けます。
- ②沢山の困り事に気づける人や連携先を増やして早期に必要な窓口や支援につながる地域づくりを目指します。
- ③地域の中で理解が増えることで沢山の人がお互いに理解して支え合える優しい関係づくりを目指します。

事業の内容と成果

- ・子ども達の学びも出来る居場所（短時間スタッフ配置で子供の利用にも対応できました）
毎週3回開催： 合計 137 日のうち 102 日利用有、のべ246名利用
- ・PC 教室 9 回開催：子ども達も少しずつチラシ作りなどできるようになりました。
- ・チラシ 2 種作成し、市内全ての小中学校に配布の他、市役所、図書館、関係先等に配置しました。
- ・交流会 2 回開催：ビザ交流会は参加者 18 名、大学生等 8 名、見学 1 名、関係者 7 名。
3月の交流会は子どものみ参加 8 名、PC 教室は 5 名参加で順番待ちでした。
- ・バス研修（岐阜公園）：急な病欠もありましたが感染症対策を配慮して元気に過ごせました。
（参加者：大人 6 名、連携先から 1 名、子ども 10 名）

参加者・対象者の様子

この事業で実施した交流会では初めて大学生等 9 名との出会いを経験した子やご家族が笑顔でゲームやお話、ビザ作りする姿がとても嬉しかったです。岐阜公園も皆元気に過ごせて次を楽しみにする声も多かったのです。そして日々の居場所では短時間スタッフを置くことで複数の子どもの利用に繋がりが安心する様子があります。

寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

今年度も冠基金での助成、本当にありがとうございました。今回の新たな取り組みで、地域や自分たちの課題発見もできて沢山の繋がりで子どもたちやご家族、そしてスタッフ皆の支えになりました。感謝の気持ちでいっぱいの 1 年となりました！！

団体連絡先

団体 HP



080-1615-8518

中村

ショートメールどうぞ

助成額

400,000 円

総事業額

426,608 円

⑩NPO法人 MINO COOL JAPAN（美濃市）

東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 みのっ子繋がりのプロジェクト事業



事業の目的

子どもたちが主体的に遊び、学び、そこに関わる地域の大人が子どもたちを尊重し見守ることを通して、子どもたちにとって安心・安全な居場所を作ることを目的とする。

事業の内容と成果

みのっ子繋がりのプロジェクトとは？
子どもの「やりたい！」をみんなで応援する居場所です。（みのっ子村・みのっ子市・みのっ子縁）
美濃で過ごす子ども時代にしか味わえない、子ども達にとっての貴重な時間に第三者の居場所で過ごすことで他人とのコミュニケーションを学んだり、地域で過ごした思い出を刻みます。
不登校の子どもや親子の居場所にもなっています。

参加者・対象者の様子

3年間居場所を続けることで、多世代の子どもが集い、多彩な大人がスタッフとして関わる場へと育ちました。地元の高校生もより深く居場所づくりに関わりました。

寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

この度はご支援いただきありがとうございました。子どもたちの「やってみたい！」を応援できる活動となりました。これからも長期的に続けていけるよう試行錯誤していきます！
今後も応援よろしく願いいたします。

団体連絡先

HP：

<https://lit.link/npominocooljapan>

助成額

400,000 円

総事業額

402,644 円

A. 助成事業【はばたく助成】全1件 合計448,000円

NPO法人美濃加茂国際交流協会（美濃加茂市）

......
東海ろうきん未来応援寄付金

助成事業名 外国にルーツを持つ高校生の学習支援事業

事業の目的



美濃加茂市は現在、在住外国人が総人口の11%を超している。日本語力の不十分な外国籍児童生徒の学習支援が必要となり、当協会は過去10年間放課後学習支援を実施してきた。ただ、少子化で高校定員割れ、高校進学を以前は一つの指針としていたが、高校進学が容易になってきた一方で、学習についていけず進級できなくて退学、あるいは自分の思い描いていた高校後の進学をあきらめてしまうケースもある。今回は、支援対象として小中学生を継続しながら、さらに新たに高校生へと発展させ、他団体とも連携をとり情報共有を図っていきながら民間でできるサポート体制を作っていきたいと考える。

事業の内容と成果



外国人支援の少ない高校へ入学後、学習につまづき悩み孤立する生徒、および過年齢生（15歳以上）で高校受験希望する生徒への放課後学習支援として「MIRAI Plus（プラス）クラス」を開講した。週1回1会場でスタートし、必要に応じて週2回2会場へと発展させた。

今回支援した生徒：フィリピン・ブラジル籍高校生、フィリピン籍過年齢生学習者は学習面を通して、心理的にも様々な点で自信を回復し、将来に向けての進路をあきらめない選択、また同年代の日本人学生サポーターとの交流により、社会的な孤立にならない居場所としての役割にもなった。高校受験を目指した過年齢生二人も無事に合格し、高校進学後の勉強方法の基礎もできたと思う。



参加者・対象者の様子

アットホームな雰囲気、学習面では、学校の個々の課題に沿って支援し、日本語・教科学習を中心に実施したが、それぞれの課題に寄り添い伴走することで、学習者も熱心に学び、サポーターも教える・理解させるということに対して一生懸命向き合うことができていた。

今回学習サポーターは大人による指導に加え、大学生・高校生のサポーターも参加し、彼らにとって多文化共生体験など相乗効果としてよい学びと成長となった。

寄付者（東海ろうきん様）へのメッセージ

今回、ご寄付いただいた支援金のおかげで、必要とされながらも、新しい事業としてなかなか他の団体も手の出せなかった「外国にルーツのある高校生」への支援がスタートできました。

それぞれ悩んでいた課題に寄り添い、伴走支援をすることで彼らの将来への可能性を広げることができました。学習面だけでなく、一人一人が抱える悩みも相談することもあり、居場所としても大切なところとなったことはとても有意義なことでした。

今回立ち上げた事業を、さらに今後も継続していけるように努力していきます。ありがとうございました。

NPO法人美濃加茂国際交流協会
(MIEA)

TEL/FAX 0574-28-3822

E-mail: office@miea-jp.com

HP: <http://miea-jp.com/>



FB ページ

助成額

448,000 円
内 400,000 円
(☆3 東海ろうきん未来応援寄付金)

総事業額

478,809 円

B. 利用者負担軽減助成 全 5 件 合計 747,979 円

①あしたの支援室 (大垣市)

助成事業名 ひきこもり女子会「ラルジュ」事業



団体連絡先

電話番号：090-9027-0132
keikoko3j@gmail.com
Facebook「あしたの支援室」

事業の目的

2017年5月、ひきこもり女子経験者・当事者が安心して過ごすことのできる場所がほしいという要望を受け開始した。毎月1回ではあるが、継続することで、毎回この会を楽しみにして参加する女性が増えてきている。また、交通費の軽減を知り、ほっとされる方が多い。少ない人数ではあるが、社会と繋がる居場所として継続の必要を感じている。

事業の内容と成果

不登校やひきこもりの女子の居場所として、悩みごと相談・誕生日のお祝い・就職についての情報交換など。

参加者・対象者の様子

「私はこの2年くらいの間に、引きこもりから外に出ることができるようになりました。ラルジュは、参加者の皆さんが、とても温かく、時間のたつのを忘れておしゃべりに夢中になってしまいます。それが、安心であり、居心地の良い雰囲気です。仲の良い友達もできました。これからも、月1回のラルジュを楽しみにしています。」

寄付者へのメッセージ

回を重ねる毎に、参加者の笑い声が増してきています。その笑顔を支えてくださっている皆様に心より感謝しております。

助成額

102,164 円 (交通費の補助)

②NPO法人飛騨高山わらべうたの会 (高山市)

助成事業名 高山市ファミリー・サポート事業・びいぼおサポート事業



団体連絡先

0577-57-8577
<https://hidawarabe.org>
Instagram：wara.bobo



事業の目的

高山市ファミリーサポート事業では、高山市内の生後3ヶ月～18歳までの託児事業を行っている。預かりの中で、こどもが学習支援を受けることもある。経済的不安のある、ひとり親家庭や、外国ルーツの家庭のこどもが、必要な託児や学習支援を受けられるよう、利用料の減免を行った。

事業の内容と成果

ひとり親家庭は利用時間の制限なく、利用料を50%減免し、外国ルーツの家庭は月に5時間まで利用料を50%減免した。

昨年は11月で予算を使い切ってしまったが、減免割合を調整し1年を通して活用できた。

参加者・対象者の様子

ひとり親家庭のお母さんは、夜間や土日祝日など、利用料金が高い時間帯の利用が多いが、減免のおかげで、必要なときには躊躇せず託児を頼むことができたとおっしゃっていた。

寄付者へのメッセージ

ひとり親家庭のお母さんは「減免のおかげで、長時間預けないといけない時も不安なく利用することができました。」と大変喜んでいらっしゃいました。

また、日本語学習支援では、ただ勉強を教えるだけではなく、高山市で生活する外国ルーツのこども達の、大切な居場所を確保することができました。

わらべうたの会が目指す「こどもの笑顔があふれる社会」実現の為に、本当に大きな力添えをいただきました。誠にありがとうございました。

助成額

180,875 円 (利用料の減免)

③一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク（岐阜市）

助成事業名 学習支援室へ通う生活困窮世帯への交通費支援事業



事業の目的

「学習支援室」に通う児童・生徒は、ほとんどが、生活保護世帯、就学援助世帯、ひとり親世帯などの経済的に困窮している世帯である。無料塾といえど、来るためには実費交通費がかかる。その交通費が負担で参加できない子ども達もいる。子どもがお金の心配なく公共交通機関を利用して学習支援室に来ることができるようにする。

事業の内容と成果

本助成金を利用して交通費を支給することにより、安心して通えるようになった。その結果、塾への参加日数が増え、毎週きちんと通えるようになった子ども達が多かった。毎週通えるようになると、精神的にも学力的にも安定して、学習意欲や学力の向上が見られた。交通費支給で学習支援事業を後押しし、正のスパイラルができていた。

参加者・対象者の様子

子ども達は、様々な家庭での問題をかかえており、学習習慣がない子が多く、低学力の子が多い。学習支援室では、一人一人の学力に応じて、きめ細かく丁寧に教えている。今年度は10名以上の高校生が無事卒業し、大学進学や就職ができた。中学3年生は20名以上の子が全員高校進学を果たした。

寄付者へのメッセージ

子どもの貧困対策としての無料塾は、各地で開催されるようになってきました。しかし、その無料塾に通う交通費自体が、困窮家庭には大きなハードルになります。この問題を解決するのが「交通費助成」です。これで子どもも家庭も安心して無料塾に通えるようになり、勉強に取り組むことができます。貧困の連鎖から抜け出させる第一歩です。大変感謝しております。

団体連絡先

<https://gifugakushusen.qloba.com/>

https://www.facebook.com/gifugaku/?local_e=ja_JP

EMAIL : gakushusen@yorisoinet-gifu.com

助成額 158,940 円（交通費の支給）

④一般社団法人SEIMA137（関市）

助成事業名 児童自立生活援助支援事業



事業の目的

時代にあった学校のあり方が問われ、子どもの心のケア、多様性の受け入れが進む中で、子どもたちがおうち以外で安心して過ごせる居場所、多様な人と出会いながら体験と学びが起こる場が各地域で求められています。また、ご両親（特にお母さん）の負担を減らすことで、子どもだけでなく、子どもに大きく影響を与える環境を整え、大人も子どもも自分を犠牲にすることなく自己表現できる場所を目指し活動しています。

事業の内容と成果

学校でのペースについていくのに疲れてしまったり、ご家庭で親子共に安らげない状況にある中を第3の居場所として学校と家庭の両方を兼ね備えた安心できる場所があることで心身のバランスを取り戻せる子が多かった。親以外の信頼できる大人との関わりや異年齢の子どもたちと一緒に過ごせることで、協調性が育ち、どんな人とも調和が取れるように成長した。

参加者・対象者の様子

特性の強い子や、異年齢の子どもとの関係性作りがうまくなっていった。自分の気持ちを表現しても否定されず認め合える安心の環境の中で、自分の気持ちを表現することに挑戦できるようになった。

寄付者へのメッセージ

子どもたちを取り巻く環境は非常に厳しく、社会全体で支えていく必要があります。このような支援があることは継続するための命綱となります。心から感謝申し上げます。

団体連絡先



助成額 200,000 円（利用料の減免）

⑤全国ギャンブル依存症家族の会 岐阜（美濃加茂市）

【助成事業名】ギャンブル依存症に巻き込まれた家族の困りごとの相談と病気の知識と家族の対応を学ぶ場を提供する事業



【事業の目的】

ギャンブル依存症はWHOも認める「病気」です。昨今ギャンブルのオンライン化で依存症者の低年齢化や犯罪に繋がるケースも増えています。地域柄家族だけで問題を抱え込み、状況が悪化する場合があります。当会では、そんな家族が相談できる場を提供し、家族が病気を理解し、正しい対応を学ぶことで、安心して生活できるようサポートしています。

【事業の内容と成果】

月1回、岐阜県内で家族会を開催し、当事者や家族の体験談、書籍の読み合わせ、困りごとを相談できる場を設けました。家族が対応を変えることが、当事者を回復につなぐ鍵となるため、家族へ具体的な対応策をアドバイスしました。そして子育て世代が参加できるように、保育支援を行いました。その結果、家族が正しい対応を学び、実践したことで、当事者が回復施設へ繋がりました。これは、依存症の悪化を防ぐだけでなく、若者の自殺や犯罪防止にも繋がります。

【参加者・対象者の様子】

一人で悩み疲れ切っていた家族も、具体的な助言を一つずつ実践することで、当事者を回復に繋げるだけでなく、家族自身の生活が安定し、心の健康を取り戻しました。保育支援により、子育て中の家族から、「家族会に継続して参加できた」と喜びの声が届きました。

【寄付者へのメッセージ】

皆様の温かいご支援に心より感謝します。おかげで子育て世代の家族も継続して参加でき、実際に当事者を回復の道に繋ぐことができました。家族支援は、その背後にいる子供たちの未来を救うことでもあります。これからも、苦しんでいる家族が一人でも多く笑顔を取り戻せるよう、活動を続けてまいります。本当にありがとうございました。

団体連絡先

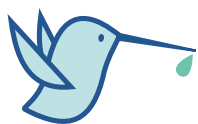


家族専用相談ダイヤル：090-6737-8665
メールアドレス：gdfam.gifu@gmail.com
ホームページ：https://gdfam.org/

助成額

106,000 円（保育代の減免）





助成団体から、ぎふハチドリ基金にいただいた メッセージの一部をご紹介します



大きな力をいただきましてありがとうございました。地域社会のために、今後も邁進してまいります。



私達のような任意団体も申請できる貴重な助成です。人件費や物品購入費にも活用でき、安心して活動できることが何よりありがたいです。

些細な事も相談に乗っていただけたので安心して申請することができました。書類の書き方など細やかにサポートしてくださり、本当に助かっています。

我々にとってぎふハチドリ基金は、活動開始から今までを伴走して下さった存在です。立ち上げから3年ほどは本当に資金繰りが大変です。これからも新しい団体さんに寄り添っていただけたらと願います。

採択式で「活動が認められたということなので、自信を持って活動してください」と言っていただき、大きな励みになりました。その言葉を糧に活動を続けていきたいと思います。

初めての応募で、文章の作成やPC・スマホでの作業は大変でしたが、個別相談はとても助かりました。今後も継続してほしいと思います。



利用者負担軽減助成は、なかなか無い助成だと思います。ぜひこれからも継続していただけたら大変助かります。支援の手が少数でも本当に必要なところに届くよう、今後も活動を継続いただければと思います。



ハチドリ基金には、岐阜の社会課題を共に解決するパートナーとして情報交換や他団体とのネットワーク構築の場をさらに提供していただけることを期待しております。私どものような小さな団体の現場の声をより広い地域社会や行政へ届ける橋渡し役としての機能にも引き続き大きな期待を寄せております。

活動のステップアップとなる機会をいただいた、大変ありがたい助成プログラムです。地域のネットワークを広げる一歩となりました。

市民の皆さまからのご寄付による助成を大切に受け止め、感謝の気持ちを忘れず、これからも工夫しながら活動を続けていきたいと思っています。

ハチドリ Café や採択証交付式で他団体の方々と交流し、情報交換ができたことはとても心強く、大きな励みになりました。

ハチドリ基金により今回の事業に挑戦することができ、新たな支援者の獲得にもつながりました。自己資金だけでは難しい活動を支えていただき感謝しています。

はじめての助成金申請で不安もありましたが、「はじめる助成」「つづける助成」など目的別に分かりやすく、丁寧にご助言をいただき安心して手続きを進めることができました。

ひとり親家庭への支援はまだまだ必要です。子どもの体験格差や学習格差の解消に向け、生活困窮家庭への支援が今後も続くことを願っています。



あなたのあたたかいご寄付により、この仕組みを支えてください

～ぎふハチドリ基金への寄付には、いろいろな方法があります～



寄付金決済システム(Congrants)



ソフトバンク「つながる募金」



東海ろうきんNPO寄付システム

詳しくは事務局に
お問い合わせ
ください。

- ・リーフレット内の振込用紙を利用して振り込む
- ・羽島市ふるさと納税 など



みんなの ハチドリ

minnano hachidori



あなたの思いを届ける 寄付支援ポータルサイト

「みんなのハチドリ」は、岐阜県内の子ども、若者、子育て家庭の支援に取り組む団体とみなさんをつなぐ窓口です。
地域貢献をお考えの企業、個人の皆さまはぜひご活用ください。

「みんなのハチドリ」のポイント

- 子ども・若者・子育て支援団体の詳細情報を一覧できる
- 寄付やボランティアを希望する支援団体に直接アクセス
- 岐阜県への地域貢献、新しいつながりの創出
- 10年以上の実績がある、ぎふハチドリ基金が運営
- 厳しい基準を満たした支援団体のみをご紹介します



選んで直接支援できる

企業・個人

- ・社会貢献活動に興味がある
- ・SDGsに取り組みたい
- ・ボランティア活動がしたい
- ・子ども、若者、子育て家庭の応援がしたい



寄付支援
ポータルサイト

活動を知ってもらえる

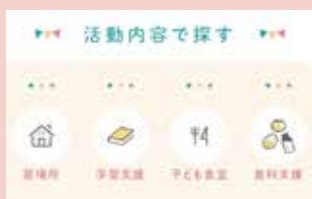
市民活動団体

- ・活動を知ってもらえて、
応援してもらえる
- ・活動の継続につながる



支援する団体を探して寄付ができます。

興味・関心をお持ちになった団体の詳しい情報をご覧いただき、各団体まで
温かいご支援をいただきますようお願いいたします。



↑ 目的別やフリーワードで探すこともできます。

アクセスはこちら



<https://minnano-hachidori.jp/>



ご寄付をいただいた皆さんの思いが
助成団体の活動となって、子ども・若者・子育て家庭の
もとに届いた様子を、ぜひお読みください。



認定特定非営利活動法人
ぎふハチドリ基金

〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12

岐阜県シンクタンク庁舎 3F ギふNPOセンター内

TEL 090-8736-9739 FAX 058-275-9738

Mail hachidori@gifunpo-fund.org

HP <https://gifunpo-fund.org/>

